作業療法学科　教育目標

作業療法の対象者やその家族を支援する業に就くに必要な知識・技術の教授のみならず人や地域社会に興味関心を持ち何事にも主体的に取り組める良識ある人格形成に努めると共に、社会に貢献し得る優秀な人材を育成する。

学　年　別　到　達　目標

1年次	1.　人体についての基本的な仕組みを理解できる。 2.　人の生活に興味を持ち、標準的な日本人の生活様式を体験し理解する。 3.　様々な職業についての特徴に気づき作業分析ができる。 4.　人に興味を持ち、主体的に奉仕活動に参加できる。 5.　自己の生活管理・健康管理が出来る。 6.　個人情報保護法・理学療法士作業療法士法の守秘義務を理解して行動できる。 7.　臨床実習施設のルールを理解して行動できる。
2年次	1.　作業療法の適応となる疾患について学び、症状を理解できる。 2.　作業療法の基本的な概念を理解できる。 3.　人と作業について統合的な理解ができる。 4.　作業療法で用いる基本的な検査や評価方法を理解し実践できる。 5.　自己の生活管理・健康管理が出来る。 6.　個人情報保護法・理学療法士作業療法士法の守秘義務を理解して行動できる。 7.　臨床実習施設のルールを理解して行動できる。
3年次	1.　作業療法の適応となる疾患に対する評価や治療法を理解できる。 2.　作業療法対象者の全体像を把握し、治療計画を立てられる。 3.　作業療法対象者や臨床実習指導者と適切な疎通が図れる。 4.　他者との協業や自己研鑽を主体的に行える。 5.　自己の生活管理・健康管理が出来る。 6.　個人情報保護法・理学療法士作業療法士法の守秘義務を理解して行動できる。 7.　臨床実習施設のルールを理解して行動できる。
4年次	1.　資格取得に向けた取組（臨床実習・国試対策・卒論）を計画的に遂行できる。 2.　作業療法の適応となる疾患に対する評価や治療法を模倣し実践できる。 3.　作業療法対象者と適切な治療関係を作る事ができる。 4.　臨床実習施設に置いて作業療法士の役割や業務の流れを理解し模倣できる。 5.　作業療法視点から社会貢献の意識を持って行動することができる。 6.　自己の生活管理・健康管理が出来る。 7.　個人情報保護法・理学療法士作業療法士法の守秘義務を理解して行動できる。 8.　臨床実習施設のルールを理解して行動できる。